

| | | | | | |
|--|----------|---------|-------------|-----|-------|
| 事務事業名 | 配食サービス事業 | 事務事業No. | 10602000019 | 所属課 | 高齢福祉課 |
| (5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ ひとり暮らし高齢者等が自立した生活を確保するために実施しているが、利用者数が横ばい状況である。 | | | | | |
| (6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 委託者のワタミ株式会社からは、利用者が少ないようであれば、委託の継続は難しいとの意見を頂いた。 | | | | | |

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

| 評価項目 | |
|---------|---|
| 改革改善を行う | ① 政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている バランスの良い食事を週2回を限度に夕食時に提供するとともに安否確認を行うことは、高齢者の自立した生活を確保することになるため、高齢福祉の推進に結びついている。 |
| | ② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 調理・食事の調達が困難な高齢者に対し、配食によって生活の支援、安否確認を行っているため、必要な事業である。 |
| | ③ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 要綱の変更によって、対象者が拡大したため、成果の向上余地がある。また、事業所を増やすことで利用者を増やしていく体制を整えれば、成果の向上の余地がある。 |
| 有効性 | ④ 廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 調理・食事の調達が困難なひとり暮らし高齢者等を支援する事業で、現在利用者があるため、廃止や休止はできない。 |
| | ⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 調理・食事の調達が困難な高齢者を支援する事業が他にないため、統廃合や連携はできない。 |
| 効率性 | ⑥ 事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 事業費の削減余地はない。 |
| 公平性 | ⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 対象が市内の調理・食事の調達が困難な高齢者であり、自己負担もして頂いていることから、公平・公正である。 |

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

| (1) 1次評価者としての評価結果 | | (2) 全体総括(振り返り、反省点) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|---|--|----|----|----|-----|--|--|----|----|----|----|--|---|--|--|----|--|--|--|--|
| ① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり | ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり | 令和7年2月からは、対象者を「65歳以上の調理・食事の調達が困難な高齢者世帯」へ拡大したため、利用者の増加が見込める。一方で、ワタミ株式会社からは利用者が少なければ委託継続が難しいとの意見を頂いたため、利用者を増やすための方法を検討する必要がある。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり | ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 → <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (3) 今後の事業の方向性 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 現在の課題としては、委託業者が少ないことが挙げられる。近隣の配食事業所に連絡を取ったが、どこも難しいとのことだった。配食事業所に限らず、一般の弁当業者を通してやりようがないか等検討する必要がある。 | | (4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> | | 成果 | 向上 | コスト | | | 削減 | 維持 | 増加 | 維持 | | ○ | | | 低下 | | | | |
| 成果 | 向上 | コスト | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 削減 | 維持 | 増加 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 維持 | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 低下 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (6) 事務事業優先度評価結果 | | 成果優先度評価結果 ① | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

| | |
|--|--|
| (1) 課長評価 | (2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) |
| 課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続 (現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続 (改革改善を行う) D: 2次評価へ提出 | 確認欄 <input type="checkbox"/> |